



# ひかりっこニュース

安中ひかりこども園 第25号

発行者：岡内郷子 2024, 2, 6

泣きながらも、一生懸命に豆を投げる3歳さん。



## キヤー！！！！ 鬼がきた！！！！

勇敢にも、前に出て一人で豆を投げる子どももいました！



大好きな先生が「鬼に連れて行かれる！！！」と、泣きながらも必死に先生を助ける子どもたち。担任愛があふれていました～。



今年も、こども園に鬼がきました！！

ドンドンと太鼓の音が鳴り響いたと思ったら、クラスのカーテンが、ザッと開き、そこに鬼が登場！！キヤーと言いながら頑張って豆を投げる子、後ずさりする子、固まって動かない子、大声で泣く子、先生にくっついて離れない子、部屋の片隅に隠れる子など、今年も色々な反応がありました。

鬼が去ったあとは、福の神(おたからまんちん)がやってきて「これで、悪い鬼をやっつけたよ。今年も良い1年になるよ…」と言いながら、鈴を鳴らしてもらっていました。中には手を合わせて、拝んでいる子どももいましたよ(笑)

恐くて先生の背中から降りられない4歳さん



鬼退治して、ホッとした表情の子どもたち。  
“けんかする鬼”“ねぼすけ鬼”“くいしんぼう鬼”“お母さんのいうこときかない鬼”などを追い出したようですよ…(笑)



じいーと真剣な表情で鬼を見つめるひよこ組さん。最後には、タッチしてもらっていました。



## なぜ、節分に豆をまくの？

鬼に向かって投げるのは「豆」。これは、穀物には邪気を払う力があると考えられていたこと、そして「魔を滅ぼす＝魔滅(まめ)」に通じることが理由とされています。さらに、「魔を射る(射る＝炒る)」ために、『炒り豆』が使われるそうです。豆まきはもともと、中国から伝わってきた文化だそうです。

節分とは、季節の始まりである立春、立夏、立秋、立冬の前日をさす言葉。中でも、旧暦では「立春」が1年の始まりとされていました。

この立春の前日に「1年の邪気をはらう目的」で豆まきなどをするようになったのが現在の節分の由来です。今年の節分は、2月3日でしたが、来年は2月2日だそうですよ。